



「紅に囲まれて」日野市 佐内眞佐子 写真コンクール 四季の部 銀賞



曼珠沙華(彼岸花) 十万個植栽完了の御礼

別格本山高幡山金剛寺 貫主 川 澄 祐 勝

秋彼岸の頃美しい花を一齐に咲かせる彼岸花は、古代印度で大変めでたい花とされていた曼珠沙華(梵名マンジュースケ・manjusaka)に由来する花なのです。この曼珠沙華は前述の通りサンスクリット語の音写でこの花の伝承にふさわしい、綺麗な漢字が中国で宛てられました。

この古代印度の伝承にもとづく曼珠沙華は仏教とも関係の深い植物で、諸天神がめでたい事の吉兆として天から降らせる四つの美しい花(四華)の一つに数えられており、この花を一目見たものは自ずから悪業を離れることが出来ると伝えられ、如意華・柔軟華・白田華などと漢訳されています。

この美しい曼珠沙華の境内植栽事業は、当山で毎週例会を開いています。東京日野ロータリークラブの創立五十周年事業として企画され、まず三万個の球根(鱗茎)奉納が決定しました。この件を昨年六月一日発行の山報に掲載しましたところ、檀信徒の方々からも五万三千個の球根が奉納されましたので、ボランティアの方々の協力もいただき、昨年秋までに合計八万三千個の植栽が完了致しました。更に本年三月以降も続々と球根のご奉納があり、七月末日現在あらたに二万五百個の植栽が完了し、昨年度からの合計は十万三千五百個を越えています。

植栽地は高幡城址(愛宕山)の馬場跡広場を中心に、山内四国八十八ヶ所巡拝路その他境内一円に及んでおり、花を見ながら自然に八十八ヶ所めぐりが完結できるなど境内のあらゆるところで曼珠沙華を楽しんでいただけになります。ご承知のように曼珠沙華は九月中旬頃一つの球根(鱗茎)から一本の花茎を伸ばして、その頂きに六つ七つの花を輪のようにまとめて咲かせます。

この美しい花が一齐に咲き乱れている光景はまるで天から花が降ってきたように見えます。これが印度の古い伝承のもとになったのではないかと思われれます。この曼珠沙華の増殖はぐんぐん増える球根(鱗茎)により増えるので、恵まれた環境の当山の曼珠沙華が百万本の花を咲かせるのは十年後位と思えますので、ご期待の程御願ひ申しあげ、曼珠沙華十万株植栽完了の御礼に替えさせていただきます。尚山報でお知らせ致しました寺山の整備事業はこれから継続致しますが、現状でも二ヶ所の展望台から関八州の山々が見渡せる程になっております。

※四華とは曼珠沙華・摩訶曼珠沙華・曼陀羅華・摩訶曼陀羅華のことで併せて四種天華と呼ばれています。

お知らせとおねがい

花木ご奉納のお願い

六月一日付の山報でお知らせ致しました通り、桜その他の老木百数十本を伐採し、展望も復活しましたが、山内には尚たくさんのお木が残っております。それ故寺山の式拾年後を見据えて、桜を中心に何種類かの花木を植樹しておきたいと思っておりますので、ご協力の程伏して御願ひ申し上げます。

記

- 種 類 そめいよしの(百本) しだれざくら(十本) 梅(三十本)
- 百日紅(十本) その他(計二百本)
- ご奉納金 一本 三万円也

尚花木の植栽は来年春以降を予定しております。

世界糖尿病デー五重塔ブルーライトアップ

今年も世界糖尿病デーにちなみ五重塔のブルーライトアップ及びチャリティーイベントを左記の通り開催します。

記

- ◇五重塔ブルーライトアップ
十一月十二日(土) 十九日(土)
- ◇チャリティーイベント
十一月十二日(土) 午後五時開演
(塔院大ホール・入場無料)



- ・ 賈主法話
- ・ 糖尿病レクチャー
- ・ ブルーライトアップコンサート
- ・ 出演 いちむじん(NHK大河ドラマ「龍馬伝」エンディング・ギター演奏デュオ)
- ・ 主催 朝比奈クリニク
- ・ 後援 高幡不動尊金剛寺
- ・ 協賛 日野医師会

当山の記念碑・文学碑(7)

山内八十八ヶ所霊場記念碑

総高二・二米



明治四十二年に当山中興第三十一世覚雅和上が、四国八十八ヶ所霊場に倣って開創された、山内八十八ヶ所霊場は愛宕山(高幡城址)を一巡する形の霊場で、所用時間は約一時間です。

例年四季を通じて多勢の方々が参拝されますが、今年は丙申ひのさねの閏年に当りましたので、逆打ちさかうちの方も多く大変な賑いになりました。

碑は山内八十八ヶ所巡拝路入口にあり、表に大師流の書家・尾形雲海が南無大師遍照金剛と大書し、裏面に當山第三十世玉雅大僧正撰による開創の趣意が刻まれています。

尚この霊場開創に当っては発願者(池田金太郎氏ら八名)のほかたくさんの方々のご協力をいただき、更に篤信の方々によって霊場一番から八十八番までの弘法大師像が山内に奉安されました。



88番の大師像

高幡不動尊
フォトニュース



施餓鬼大法要 8/15



七夕祭りの飾付け 参道通り 6/24



燎俳句会20周年記念大会 貴主講演 5/19



ボランティアの皆さんによるあじさい毬切り 7/11



密厳流遍照講習会 6/24



不動ヶ丘の見晴らし台からの眺望 右方向がスカイツリー・新宿 6/2



画僧 牧宥恵先生の写仏教室 6/18



大賑わいの薄茶接待 6/9



日野市を中心に活躍する
「ナイーブエンジェル」の皆さん 7/25



岩崎愛子さんの新曲「曼珠沙華咲く高幡で」発表会 7/31

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。(敬称をすべて省略させていただきます)

品名 大聖不動明王坐像一躯 (写真参照)

日展無鑑査 山脇 敏男先生作

木彫・樟材・一木造(台座とも) 像高一尺、総高一尺九寸

奉納 台東区 弘善講々元

山田 節子

山田 潔

品名 釉刻色絵金銀彩大壺 (写真参照)

日本工芸会正会員 伊藤 北斗先生作

横三・七cm 縦三〇・二cm

奉納 日野市

伊藤 北斗 猪鼻 洋介

品名 五重塔一基 (五円玉にて製作) (写真参照)

総高五〇cm

製作・奉納 町田市 得津 博

品名 大座布団 拾枚

奉納 横浜市 影本由利子

他 草花図屏風・両童子像等は未整理の為次回に掲載予定です。

境内整備緑化資金 寄進者芳名

(平成二十八年五月二十三日〜七月三十一日)

日野市 南観光交通株式会社 中澤 洋

世田谷区 高橋 悦男

調布市 北村 栄子

彦根市 西澤 政男 (二回)

日野市 河井 洋子

府中市 真橋 ひとみ

ひがん花球根 奉納者芳名

(平成二十八年五月二十五日〜七月三十一日)

若宮神社

平野英夫

府中市 夏莉 克史

町田市 井上 春雄

熊谷市 矢島 彰

東村山市 大西 禮子

日野市 安井 富恵

日野市 原 みつ子

日野市 山田キヨ子

千体地藏尊 奉安者芳名

(平成二十八年三月二十四日〜七月三十一日)

世田谷区 小谷 美智子

東久留米市 佐野 碧

国立市 星 美代子

八王子市 樋口 たい子

鈴木 悦子

鈴木 博之

矢口 治代

矢口 加奈子

幟旗奉納者芳名

(平成二十八年四月三十日〜七月三十一日)

日野市 土方 愛

杉並区 内山 穂

西東京市 今井 大煌

清瀬市 沖山 順子

日野市 三浦 正



五重塔 五円玉にて製作 奉納 得津 博 (現在 五重塔初重に仮安置中)



釉刻金銀彩大壺 伊藤北斗作 奉納 伊藤北斗 猪鼻洋介 (現在 奥殿に陳列中)



不動明王坐像 山脇敏男作 奉納 山田節子 (現在 大師堂に仮安置中)

諸行事に参加して

(敬称略)

五月大祭講演 (5/28)

「お大師さまとともに……」

作家・高野山真言宗僧侶

家田莊子先生

日野市 橋本沙代子

作家として名前は知っていましたが、出家されていた事は初めて知りました。

やさしい声で話され、人の心を引き付けるものがありました。御自身の体験を分かりやすく話されているだけなのですが、いつの間にか話の中に自分も入っている様な気持ちになりました。お話を伺って本当に良かったと思います。これからも御元気で御活躍されます様にお祈り致します。

日野市 桜井 純子
お話が身近に感じました。私も歩き遍路を二周しました。その時のことを思い出し、楽しく拝聴いたしました。

八王子市 有松美佐子
自分がつらい時にも何か人の役に立つ事ができたら、その笑顔に自分が救われるという事、是非実践してみたいと思います。

青葉まつり記念法話 (6/15)

「弘法さん・興教さん・お不動さん」青年僧から見える真言宗

福傳寺 原 祥壽先生

府中市 大原 久子

初めて青葉まつりに参加しました。私自身も身を清められたように感じました。ありがとうございます。

品川区 小野寺陽子

解りやすく修行についてのご説明をいただき、お大師様を少し身近に感じる事ができました。ありがとうございます。

ふじみ野市 石川 芳江

ホームページで知り、楽しみにしておりました。素晴らしい法話を賜りまして感謝しております。私達の癒しのお寺にしてくださいませ。ありがとうございます。

素晴しい法話を賜りまして感謝しております。私達の癒しのお寺にしてくださいませ。ありがとうございます。



法衣姿でご講演 家田莊子先生

東大和市 鈴木 和洋

弘法大師・興教大師の人生をわかりやすく教えて下さいました。法要も感動しました。ありがとうございます。

和ろうそく絵付け体験 (6/18・6/19)

昭島市 鳥沢 晴美

和ろうそく絵付け教室、今年で三年目になります。来年も楽しみにしております。

調布市 羽田 鮎美

細かくて最初は難しかったですが、にじまないのと思うように絵を描けて楽しかったです。世界で一本のろうそくを作れて素敵だと思います。

町田市 美野 美香

丸に絵を書くのは難しいですが、書いていくうちにとても楽しくなってきました。

国分寺市 佐野乃々香

少しむずかしかったけど、おもしろかった。売り物はすごく上手に絵がかいてあってよくにんはすごいと思った。いろいろな色を使って、思いどおりの色にするのがむずかしかった。

山内八十八ヶ所クイズ

川崎市 中村きよみ

八十八ヶ所を巡ったおかげで未だ知らなかったお山のすみずみまで知ることが出来て



ろうそく絵付け体験

あじさいを目にしてリフレッシュする事ができました。また山内に多くのもみじを目にして秋にも訪れてみたいと思いました。

寺子屋に参加された方の感想をご紹介します (7/28)

「わたしは、ねんじゅづくりをやったのしかったです」

「ぼくは、しらなかつたことが五重とうの中です。五重とうをのぼるのがたいへんでした。だけど五重とうのてっぺんのながめはさいこうでした。さきようはスカイツリーが見れてうれしかったです。またやりたいです」

「普段見られない場所、お話を聞けて高幡不動尊を身近に感じる事ができました。子ども達にとっても日頃の生活で、いただきますの意味、合掌の意味、認識させるきっかけになりました。充実したプログラムをありがとうございます。来年も是非お願いしたいです」

「親子で参加しました。寺子屋の体験を通して親子で勉強になり、色々と親として子育て等を考える大変良い機会でした。本当にありがとうございます」

世田谷区 富岡 達朗

時折聞こえる電車の音と鳥のさえずりを耳にしながら、山内各所に咲いている様々な

府中市 小林 芳子

アジサイの花が丁度見頃でした。途中で大きなヘビが通っていきびっくりりましたが深い自然があるのだと嬉しかったです。彼岸花の頃また来ます。

高幡不動尊もみじまつり

十一月十八日(金)～十一月三十日(水)

境内から裏山にかけては、樹齢二百年以上の古木三百株・約三十年の稚木一〇〇〇株が集中しています。特に五重塔・大師堂・鐘樓堂付近のもみじは見事でライトアップも予定されております。

もみじまつり期間中の主な行事・催しは左の通りです。

- 十一月十九日・二十日 高幡写仏会
- 十一月二十日 ござれ市
- 十一月二十一日 月例写経会 法話 山内僧侶
- 十一月二十二日・二十三日 萬燈会・たかはたもみじ灯路
- 十一月二十二日・二十三日 嵯峨御流華展
- 十一月二十三日・二十四日 フラワーデザイン展・小原流いけばな展
- 十一月二十三日 花塚供養
- 十一月二十四日 千体地藏尊月例法要
- 十一月二十八日 ござれ日

萬燈会・たかはたもみじ灯路

当山では左記の通り二日間に亘って萬燈会を奉修し、皆様
の七難即滅・七福即生並びにご先祖様の追福菩提をお祈りさ
せていただきますので、皆さまお誘い合せてご参加下さい。
尚、両日とも午後六時から門前町一帯で、約二四〇〇個の
置灯明が点灯され、「たかはたもみじ灯路」の幽玄な世界が
現出されますのでお楽しみ下さい。

記

- 一、月 日 十一月二十二日(火)・二十三日(祝)
- 一、会 場 高幡不動尊五重塔
- 一、行 事 法話・詠歌奉詠 午後四時
- 萬燈会(塔院) 午後五時
- 塔婆供養(五重塔前) 午後五時三十分
- 奉納コンサート 午後六時
- 一、御燈料 金一、〇〇〇円也(一人につき)
- 一、経木塔婆 金一、〇〇〇円也(一霊につき)
- 一、浮燈明 金 五〇〇円也(五重塔の池に浮べる燈明です)

大提灯ご奉納のお願い



大提灯ご奉納いただいたご様子

当山では萬燈会・正月・大祭・節分等の大行事の折、各所に大提灯をお飾り致しますのでご協賛の程お願い申し上げます。

- 尚、募集要項は左の通り
 - 一、品 名 萬燈会及び大祭用大提灯(ご奉納者芳名入り)
 - 一、募集数 五十基
 - 一、志納金 金五〇、〇〇〇円
 - 一、申込 当山事務局又は宝輪閣受付
- (ご連絡下されば申込書をお届け致します)

高幡写仏会のお知らせ

自分の手で仏様のお姿を写経のように写して、その後、御本尊不動明王に奉納する写仏会です。
当山では年二回(あじさいまつり・もみじまつりの会期中)写仏布教の第一人者、画僧牧宥恵師を招いて開催しています。写仏前の御法話も人気があります。是非この機会に御参加いただき、お不動様との法縁と写仏を自身の浄行とされ御本尊不動明王のご加護を授け下さい。

記

- 日時 十一月十九日(土)・二十日(日)
- 会場 午後一時～午後四時(受付 正午より) 宝輪閣地階ホール(両日共、牧宥恵師の作品を展示します)
- 内容 午後一時 法話 午後二時 写仏 午後四時 写仏奉納大護摩修行
- 会費 式千円(材料費含む)
- ◆お申込・高幡不動尊事務局まで
- 電話 〇四二五九一〇〇三二

第八回

藤蔵・勝五郎生まれ変わり記念日

イベントのお知らせ

日野市郷土資料館の勝五郎生まれ変わり物語探求調査団では、十月十日に迎える「藤蔵・勝五郎生まれ変わり記念日」に際し左記の通りイベントを開催致しますのでお誘い合せてご参加下さい。

記

- 日時 十月十日(祝) 午後一時半～四時
- 会場 五重塔地階大ホール
- 募集 二百名(直接会場へ)
- 参加費：無料
- イベント内容
- ①子孫が語る勝五郎生まれ変わり物語・映像紙芝居
- ②記念講演会
- 講師 東 雅夫氏(文芸評論家・アンソロジースト)
- 演題 「幽冥文学談義～平田篤胤から水木しげるまで～」
- ※終了後、希望者を藤蔵墓地にご案内します。
- 共催 高幡不動尊金剛寺 日野市郷土資料館 勝五郎生まれ変わり物語探求調査団

第三十三回あじさいまつり

今年のアじさいまつりは、お天気に恵まれ多勢の方々がお山なさいました。当山茶道教室のご奉仕による薄茶接待では三千名を超える皆様に楽しんでいただきました。

少年柔剣道奉納大会 6/5

日野警察署内の道場で稽古に励んでいる少年少女が、すばらしい奉納試合を繰り広げました。各部受賞者は次の通りです。

○柔道

・少年の部

優勝 森野 拓郎

「今年は小学生なので毎回練習に来れましたが、来年は中学生になるので毎回来るのがむずかしくなると思います。練習に来れないと今年のような良い結果が出ないと思うの



真剣勝負～少年柔剣道大会～

で、来年は一回一回の練習に集中して良い結果が出るようにながります」

準優勝 森野 千春
打止め賞 盛 祥太郎

○剣道

・少年の部

優勝 和田慎之助

「僕が優勝出来たのは、いつも指導して下さいる先生方や、毎回送り迎えてくれていてお母さん、色々なアドバイスをしてくれるお父さんのおかげだと改めて思いました。それも五重塔の下で出来る素晴らしい試合で勝つ事が出来てとても嬉しかったです。しかし今回の試合で、これからの課題が見つかり更に強くなれる様に頑張っていきたいです」

準優勝 新坂 優歩
打止め賞 塩見 航生

日本拳法奉納大会 6/12

三十三回目を迎えた日本拳法奉納大会は十七団体一四四名の参加で終日熱戦が繰り広



勝敗は如何に～日本拳法大会～

げられました。

本年の参加団体と各部受賞者は次の通りです。

明治大学・中央大学・立教大学・國土館大学・東洋大学・早稲田大学・日本大学・明治学院大学・南平拳友会・黒綾館・拳精会・府中道場・修猷塾・練馬第一普通科連隊・滝ヶ原教導連隊・板妻第三十四普通科連隊・大宮第三十二普通科連隊。
三段以上の部
優勝 佐土原拓也

「三十三回大会で三連覇できてうれしかった。また頑張ります」

準優勝 沼田 眞伸
「結果が出せ、自信につながる良い試合が出来ました」

三位 藤田 幸一
玉置 裕也

・二段の部

優勝 杉山 翔也

準優勝 須藤 将太

三位 三橋 寛久

本橋 優

・初段の部

優勝 齋藤 晶

準優勝 平原 一馬

三位 田中 祐介

中村 圭志

・級の部

優勝 古屋敷直道

準優勝 丸山 竣也

三位 齊藤 俊佑

船木 祐也

・女子の部

優勝 後藤穂奈美

準優勝 糸井 月

「普段拳法を見ることのない方々にも今回見ていただくことが出来てとても良かったです。また男子は自衛隊の方々と試合が出来る良い機会となったと思います。来年は優勝を目指します」

三位 由良沙優花

新井 佐保

空手奉納大会 6/26

当日はお天気に恵まれ、境内での演武・ライトコンタクト(グローブ着用)空手・厚板の試割が披露されました。各賞受賞者は次の通りです。



板割りに挑戦～空手大会～

・一般の部

優勝 八木 武寛

「第三十三回のアじさいまつり無事に迎え終える事が出来てうれしく思います。これからこの高幡不動尊で修行を続けていきたいと思

います」
・ライトコンタクト空手
敢闘賞 鈴木 平助
「練習不足ではずかしい限りです」

努力賞 飯岡弘之助
「約二十年振りにこの地を踏みました。すっかりお寺も町並も変わり驚きの一言です。ありがとうございます」

尚今年の参加団体は日本空手道不動会本部・空手道多摩不動会・日本空手道不動会八王子支部・空手道武現塾の皆様です。

あじさいまつり全国俳句大会

兼題は、一三五三名・二七〇六句の応募があり、十四名の先生方に各七十句選を依頼し合計点で上位三十名の入選が決まりました。

上位入選者(一位〜三位)

濃紫陽花深き祈りは声立てず

横浜市 蓮見ふじ江

涼しさや風が導く仏みち

茅ヶ崎市 山田 正弘

結果の高みにもつれ夏の蝶

杉並区 町田 珠子

④新井よしを ⑤梅沢 敦子

⑥田中 順 ⑦大石 懋

⑧村田のぼる ⑨加川すすむ

⑩綱島 清 ⑪酒井 直子

⑫関 恭子 ⑬坂本ふく子



阪田昭風先生の講演「村沢夏風先生の想い出」

記念俳句大会は八月六日高幡不動尊を会場に盛大に行われました。当日の句会は当季雑詠二句で三二〇名の方が出席、出席諸先生方の選で上位三十名が表彰されました。尚、当日は嵯峨野俳句会名誉主宰阪田昭風先生による「先師 村沢夏風先生の想い出」と題しての記念講演が行われました。

表彰式・記念俳句大会

8/6



俳句大会総合1位 横浜市 蓮見ふじ江さん

短歌大会

8/7

短歌大会は二一六名・四三二首の投稿がありました。表彰式には一三〇名の出席があり諸先生方による講評が行われました。尚、選者・講評をおつとめ下さった先生は次の方々です。(敬称・肩書略・五十音順)

表彰式

8/7

大河原惇行・狩野 一男
長澤 ちづ・福田 龍生
松坂 弘

の諸先生及び当山貫主
上位入賞者(一位〜三位)

花の声聞ゆる如くはなやいで
不動の山はあじさい盛り

日の出町 宮田 美子
高幡の兄弟歌碑の文字うすれ



短歌大会 先生方の講評

読みがたかりきあぢさゐの下
中央区 玉井 周子
武蔵野の盛衰いく世見守りけむ
不動明王のまなこにすくむ
小金井市 土屋 秀雄

- ④高橋 悦子 ⑤江袋 林藏
- ⑥星野 一英 ⑦田嶋美代子
- ⑧坂本 由子 ⑨最上智恵子
- ⑩河北 笑子 ⑪桜井 栄一
- ⑫柴田 慶子 ⑬富山富美子
- ⑭徳植 弘幸 ⑮近藤和歌子
- ⑯松永 昇三 ⑰千明 武紀
- ⑱長谷川 瞳 ⑲大木かづ子
- ⑳星野 久子 ㉑ヘッセル泰津子
- ㉒北條 忠政 ㉓土屋ひろ菜
- ㉔新井由美子 ㉕白井 幸子
- ㉖石尾曠師朗 ㉗御子柴万里子
- ㉘立山 宏子 ㉙小島孝太郎
- ㉚藤野 宏子

山内八十八ヶ所めぐりクイズ

山内八十八ヶ所クイズの正解
①花まつりにお釈迦様の誕生
仏に濯ぐのは 「甘茶」

⑩日野市の程久保駅は

「多摩都市モノレール」

⑳お不動様の右手の剣が表しているのは 「智慧」

⑳日野市の浅川で自動車を通れない橋は「ふれあい橋」

④新選組六番隊長は 「井上源三郎」

⑤多摩動物園で生れたキングチーターの子は「ナデシコ」

⑥彼岸花植栽記念句碑に入る山の名は 「富士」

⑦今年のオリンピック開催都市は「リオデジャネイロ」

⑧勝五郎生まれ変わり物語を海外に広めたのは「小泉八雲」

⑨山内八十八ヶ所にお祀りされているのは「弘法大師」

本年は一二二九名の方に解答いただき、全問正解は九四八名でした。

あじさいまつり写真コンクール

今年も総数一八五二点とたくさんの作品を応募いただき、七月二十七日に審査会が行われ、合計一〇八点が入賞しました。入賞作品は九月末日まで五重塔千体堂に、その後十月六日より十月十一日まで京王線聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターA B館五階ブリッジギャラリーに展示します。

応募作品 計一、八五二点
あじさいの部 一、二二九点
四季の部 六二三点
応募人数 四〇一人

〈あじさいの部〉

金賞 日野市 設楽 誠一
銀賞 国分寺市 今玉利修司
〃 八王子市 星野 利成
〃 府中市 能登 正俊
銅賞 八王子市 佐野 軍英
〃 志木市 篠原 俊昭
〃 日野市 橋本 昌利

〈四季の部〉

調布市 北野 修
昭島市 野武 高行
金賞 八王子市 森 鉄治
〃 八王子市 渡辺 邦昭
銀賞 日野市 野村 明雄
〃 日野市 佐内真佐子
銅賞 日野市 小林 滋
〃 調布市 伊藤 務
〃 日野市 等々力 力
〃 日野市 宇都宮元紀
〃 府中市 高橋 俊吉



あじさいの部 銀賞「あじさいと五重塔」
府中市 能登 正俊



四季の部 銅賞「霧に包まれた五重塔」
日野市 小林 滋



四季の部 金賞「見晴らしの良くなった不動ヶ丘」
八王子市 森 鉄治



四季の部 銀賞「キティーちゃん こっち」
日野市 野村 明雄



あじさいの部 銅賞「亀と錦鯉」
調布市 北野 修



四季の部 銅賞「彼岸花が咲きました」
日野市 宇都宮 元紀



あじさいの部 銀賞「八十八ヶ所巡りは花の中」
国分寺市 今玉利 修司



あじさいの部 銅賞「おとさないでね」
日野市 橋本 昌利



四季の部 銅賞「紅葉狩」
府中市 高橋 俊吉



四季の部 銅賞「みんなでお豆を煎りましょう！」
調布市 伊藤 務



あじさいの部 銅賞「私も一枚」
志木市 篠原 俊昭

山内消息(1)

職員研修旅行

六月六・七日、八・九日の二班に分かれ新潟県の佐渡ヶ島への職員研修旅行が実施されました。

初日は新潟港より佐渡ヶ島の両津港に到り、たらい舟、三川ゴールドパークにて砂金採りと、体験観光をしました。二日目は前日とは対照的に史跡佐渡金山、妙宣寺の重文五重塔を参拝、大膳神社の能舞台を観光し佐渡の歴史にふれました。二日間、佐渡ヶ島を満喫し有意義な研修旅行を終了いたしました。

(手塚記)



タライを漕ぐのは大変でした～職員研修旅行～

本年も宗祖弘法大師、中興祖興教大師ご誕生奉祝青葉まつりが六月十五日、大日堂に於て奉修されました。当日は生憎の雨でしたが、法要に先立ち福傳寺副住職原祥壽先生に「弘法さん・興教さん・お不動さん」青年僧から見える真言宗」と題して両大師のご修行や不動明王のお姿などについてわかりやすく

幡山会総会 (6/13)

六月十三日、高幡山法類会「幡山会」総会が八王子うかい竹亭にて当山貫主をはじめ会員二十八名の出席で開催されました。

総会のはじめに清水博雅會長の御挨拶、続いて事業報告・会計報告をすませて懇親会に移りました。宴の途中で毎回恒例となっている清水會長のマジックショーはなんと新ネタをご披露。ご高齢にも拘らず進化を続けるその姿に感銘を受けるともになごやかに盛り上がりました。

(百戸記)

青葉まつり

美しい花を見せてくれた紫陽花のまり(花)を、また来年も咲かせてくれるよう、一つ一つ感謝を込めながら剪定しました。来年のあじさいまつりが楽しみです。(上田記)



原 祥壽先生のご法話～青葉まつり～

話していただきました。

(丸山幸記)

紫陽花のまり切り(7/1)

大勢の皆様で賑ったあじさいまつりが終わり、七月十一日にボランティアの方々職員総出で紫陽花のまり切りを行いました。

美しい花を見せてくれた紫陽花のまり(花)を、また来年も咲かせてくれるよう、一つ一つ感謝を込めながら剪定しました。来年のあじさいまつりが楽しみです。(上田記)

高幡不動尊寺子屋(7/28)

七月二十八日、高幡不動尊寺子屋を開催しました。当日は天気にも恵まれ、高幡若草

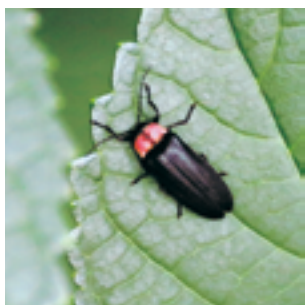


上手に出来たかな?～寺子屋念珠づくり～

子ども会の子供達と保護者の方々総勢二十五名にて念珠づくりや境内の案内をし、お寺に親しんでいただきました。念珠づくりでは悪戦苦闘しながらも皆一所懸命に取り組んでいました。続いて大日堂では鳴り龍に願いを込め、龍の響きに皆ビックリしていました。その後五重塔の最上階からの景色を楽しみ、重要文化財のお不動様の前では全員でお経を唱えました。

最後に御護摩で完成した念珠を加持し、修了証と一緒に受け取って達成感と満足そうな笑顔を見せていました。

(速水記)



境内に棲息する源氏ほたる

山主の主な動静

- 6/2 観光協会総会・6/5 少年柔剣道奉納大会・6/9 中外日報取材・6/10 よさこいまつり実行委・6/12 日本拳法奉納大会・6/13 幡山会総会(八王子)・6/15 青葉まつり・6/18 多摩菊花連総博)・6/21 古代ギリシヤ展(東博)・6/26 空手奉納大会・6/27 よさこいまつり実行委・7/2 参道会七夕まつり・7/19 飛火野RC卓話・7/20 よさこいまつり実行委・7/24 夏休み子供講座法話・7/26 観光協会正副理事會・7/27 写真コンクール審査・7/28 高幡山寺子屋・7/31 よさこいまつり・岩崎愛子新曲発表會・8/3 日野RC卓話・8/6 俳句大会表彰式・8/7 短歌大会表彰式・8/15 大施餓鬼會・8/21 写真コンクール表彰式

高幡俳壇

祐勝選

高幡俳壇 作品募集

応募規定

一、はがき一枚に二句記載何枚でも可(無料)

一、選者は当山 川澄貫主

一、秀逸三句に記念品贈呈

一、投稿先

〒一九一〇〇三一

東京都日野市高幡七三三

高幡不動尊・山報係宛

天 恐竜をぐるりと囲む夏帽子 小平市 窪田 恵子
 (評) 恐竜展の賑いを夏帽子で表現した秀作。

地 鐘霞む困民党の夢の跡 府中市 小林 裕榮
 (評) 秩父の町を見下ろす音楽寺の鐘に困民党の昔を。

人 山紫陽花耀ふ雨の愛宕山 八王子市 福岡 悟
 (評) 雨に濡れた山あじさいの輝やきは抜群。

佳作 水口に束ほどき置き余り苗 八王子市 清水 和夫
 あぢさゐや百花繚乱大師堂 八王子市 久保田英夫
 いくたびも畝をまたぎて夏菜売る 杉並区 北原登美子
 園児らの列なしてゆく夏の寺 日野市 益本 恒夫
 ボランティア仲間の笑みやさくらんぼ 多摩市 竹本 晃之
 梅雨の月子に諭さるる齢かな 八王子市 夏目 瑤
 梅雨晴間斑模様はまばらの富士見えて 福生市 田村 寛
 四方よりヤッホーの声山開く 小平市 森岡 道生
 南風や庭師脚立を確と据え 多摩市 松山 英子
 暮れなずむ森に老鶯ひとしきり 日野市 斉藤 勝実
 水筒の水で鎌研ぎ八重葎 八王子市 石川 允義

選者吟 老僧の昼寝 懼りなかりけり

なにげなくつかっている仏教のことば―権化

権化と聞くと、「悪の権化」

という用例しか思い浮かばない

織と戦うヒーロー物を見すぎ

たせいであろうか。ともあれ、

このような「権化」の意は、

ある特徴や性質を非常に強く

発揮しているものをいい表す

によるものです。

悪の権化のようなものは願

い下げであります

つ仏や菩薩の権化は、迷い、

苦しむ人にわたしたちにとつ

て、まさに救世主といえる存

在です。

(小林靖典)

お不動さま教えて？

ご質問 夏が来ると故郷でのお盆の行事のことが思い出されま

りました。そこで目連は、食事を母に届けましたが、母が食事を口に運ぼうとすると、たちまち炭となり、一口も食べるこ



お答えのつづき 前号に、お盆の起源は、中央アジアのイラン系民族のソゲ

た。ただし、多くの修行僧の力をもつてするならば、母を餓鬼道から救うことができること、すな

益経なるお経に説かれていて、目連尊者が母を餓鬼道より救出す話として、ご紹介することにいたしました。

行僧に対して同じように供養するならば、地獄や餓鬼道に墮ちた者も必ず救われ、楽を得られるであろうとおっしゃいました。

ある時、目連が修行の結果、神通力を獲得しました。そこで自分を産み、育ててくれた恩に報いようと考え、神通力を使って亡き母がどうなっているのか

毎年迎えるお盆にあたり、新たな気持ちにて、今一度ご先祖さまの御恩に感謝し、その安寧をこころから願いたいものです。

皆様からのお便り

潤徳小三年生からのお手紙

あついい日がつづきますが、お元気ですか。以前、町たんけんでお話をうかがった潤徳小学校三年二組の大谷明音です。

この間は、おいそがしい中お時間を作っていただきありがとうございます。わたしは七五三に千人くらい来ると知って、自分しん、おどろきました。

これからもお体に気をつけて、おしごとをがんばってください。お元気で。

高幡不動様

大谷 明音

あついい日がつづきますが、お元気ですか。先ごろの町たんけんでお話をうかがった、じゅんとく小学校三年四組のしみずあまねです。この間はありがとうございます。たかはたふどうそんが三

〇〇年むかしにつくられたと答えてくれたので、びっくりしました。これからお体に気をつけておしごとをがんばってください、お元気で。

七月十五日

しみずあまね

高はた不動そん様

道があったことを知りました。八十八番にやっと戻った所で貫主にお会いして話しをしてみましたら道端の水路にゴミが落ちていたのを見た貫主が衣を着ているのに膝を付いて拾われていました。仏心を見たいでした。



あじさいの部 銅賞「満開の傘の花開く」 昭島市 野武 高行

日野市 伊藤 要介

日野市に住んで四十年になるのに、いつも入口近くの五重塔まわりばかりでしたが、今回八十八ヶ所めぐりを初めて入山しました。こんな散歩

りには間に合いませんでした。七月に眺望案内看板を設置しました。秋の彼岸花・紅葉と共に素晴らしい景色をお楽しみ下さい。

御◆案内

交通安全祈願

午前九時～午後五時

午後四時半までにお申込下さい。

〇ご祈願料 金三千元也

御護摩修行

〇平日 八時・十時・十一時半・一時・三時

〇土曜・日曜・祝日

八時・十時・十一時半・一時・二時半・四時

〇但し一日、十五日の午前中は五時・十時・十一時半

〇ご縁日(二十八日)

五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時

〇御護摩料

金参千元也 金五千元也 金壹万円也 (大護摩) 金参万円以上

ご縁日 〇毎月二十八日

境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット(リサイクル市)

毎月第二日曜日(雨天中止) ござれ市(がらくた市)

お焚き上げ

毎月十五日午前九時

月例写経会

毎月二十一日午後一時半 千体地藏尊月例法要 毎月二十四日午後二時

奥殿拝観(月曜休館)

午前九時～午後四時

拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観

午前九時～午後四時

参拝料 二〇〇円

(月曜休館)

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

長い梅雨も明け、境内は一日中蝉時雨で、あついい夏を一層暑く感じさせます。問題の多かつたりオ・オリンピックも開会し世界を魅了しております。日本選手の活躍を期待しております。若き僧侶達が意外に冷静なのに驚いております。

今号はあじさいまつりの諸行事の報告と秋の予定を中心に編集致しました。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733

別 格 本 山 高 幡 山 金 剛 寺

電 話 (042) 591-0032(代) FAX (042) 593-3038

発行人 杉 田 純 一 編集人

年 4 回 発 行 ・ 再 生 紙 使 用